

志楽消防団の紹介 団長 前田隆文

大正4年、志楽消防組が組織され、昭和28年に志楽消防団に改称され現在に至っています。現在舞鶴市には、消防団が東地区に9個団、西地区に11個団、合わせて20個団あります。東西消防団員総勢1240名になります。

その中でも志楽消防団 団員数は、86名と東大浦、西大浦消防団について、3番に多い団員数です。



志楽団は、7地区（泉源寺、田中、小倉、安岡、鹿原、吉坂、松尾）に小型動力ポンプ、6台 小型動力ポンプ付き積載車1台を地域のポンプ小屋に配置されており、有事の際は、出動します。（1回のポンプ点検実施）

団の主な年間行事は、防火水槽、消火栓点検、放水訓練、緑日警備、志楽・朝来合同夏期訓練大会、花火警戒、春秋火災予防運動、年末警戒、消防出初式、文化財防火訓練等



昨年度より、地域防災の活動として、消火器の取扱い、耐震車による耐震体験を消防署の方と地域の方と一緒にやっています。

舞鶴セーフティ・ポート志楽が発足しました。

京都府が勧めている府民協働防犯ステーション事業では、地域ボランティア団体の相互の連絡が不十分であるため、舞鶴の特長である港（ポート）と安全（セーフティ）を表す舞鶴セーフティ・ポート志楽を、志楽ダイヤモンド会館を拠点に設立し、活動を始めることにした。会長には志楽ダイヤモンド協議会の森田諭が就任し、防犯推進委員など諸団体の代表が集結しました。



看板を掛ける警察署長と森田諭会長



発足会に集まった関係者

志楽ダイヤモンド協議会の主な行事予定

10月2日（日）志楽敬老会

11月20日（日）志楽うまか市

多数の出品をお待ちしています。

志楽ダイヤモンドパトロール隊の活動

志楽地域子育て支援協議会の下部組織である志楽ダイヤモンドパトロール隊は、志楽地区の子供達の安全を守るため、志楽防犯推進委員会を中心にして発足してから数年になります。



志楽川沿いの通学路を登校する児童



横断歩道で誘導するパトロール隊員

現在隊員は76名程度であり民生児童委員は全員加入しています。

主な活動は小学校児童の登下校の見守りと子供達に対する挨拶、夏休みや休日に危険な遊びをしていないかどうかの見守りです。子供達の行事にも顔を出します。

月1回開催される志楽防犯推進委員会にも参加しています。

リーダーの清水隆さんにお聴きしました。

川柳

題「父」または「孫」

山本昭子

「頑固者」明治の父の「語りぐさ」

「賑やかに」遊んで帰る「距離がいい」

「遠くより」成長みている「気楽げば」

森本とよみ

「ベルト締め」孫と「又ね」と「ハイタッチ」

「小石にも」よらよら歩きに「爺ちゃん目」

「急に逝き」ごましお籠に「なりし父」

伊藤直人

「指さして」この人誰と「孫が聞く」

題「夢」または「勇気」

山本昭子

「未^さ来^き見えて」夢はないけど「今が幸せ」

「あの人に」挨拶するにも「勇気いる」

「勇気もて」老いた私の「生きる道」

森本とよみ

「幼な児の」寝顔の中は「どんな夢」

「孫の夢」叶う事なり「我の夢」

「年重ね」意地捨てるのも「又勇気」

「選者」入江竜児

「額の父」追軍ラッパ「聞こへそう」

川柳を募集しています。

題は「夏」または「行水」です。葉書に1人3句以内を書いて投稿して下さい。

葉書には住所、氏名、年齢を明記して下さい。投稿料は無料です。

投稿先は、625-0024 舞鶴市田中町6-4 伊藤直人です。

投稿期限は7月31日です。入選者には、文化部だより等で作品を公開します。

ホームページ (<http://shiraku.konjiki.jp/index.html>) あります。

「志楽ダイヤモンド協議会」で検索して下さい。